

# LSC BREAK

## 「アイデア・プロジェクト」と 必要条件・十分条件

広島大学大学院法務研究科附属  
リーガル・サービス・センター  
センター長 小濱 意三

広島大学大学院  
法務研究科長  
平野敏彦



5年前の4月1日は、朝から快晴。東千田キャンパスの中央にある大きな桜の木は7分咲きでした。東千田公園に面しているLSCは、季節を身近に感じることができます。春の薄ピンク色の桜に始まり、夏には緑の木々の中にひときわ生える朱色の石榴の花、秋には深紅に色づくアメリカ楓、そしてその葉を散らす風の冷たさが身に染みる頃、季節は冬を迎えます。全ての葉を落とした木々は、息を潜め沈黙を続けますが、木枯らしに耐え春の芽吹きを待つその姿は力強さを感じさせます。公園の四季折々の景色は、相談に来られた方の心を和ませるようで、話題にされる方もいらっしやいますし、携帯のカメラに収められているのを見かけたこともあります。美しい風景は、煩わしい悩み事を忘れさせてしまうほど私たちを魅了します。癒しや力を与えてくれるパワースポットは、案外、身近にあるのかもしれません。(幸)

広島大学大学院法務研究科附属  
リーガル・サービス・センター

広島市中区東千田町1-1-89 TEL (082) 542-7035

 広島大学



本冊子は、広島大学法科大学院附属リーガル・サービス・センター（LSC）の活動を示したものです。

LSCは、無料法律相談を通じて、社会貢献を行うとともに、法律相談で得られた情報を利用して、法分野における臨牀的・実務的な教育方法・教材を提供すること、を主たる目的として、平成17年に設置されました。

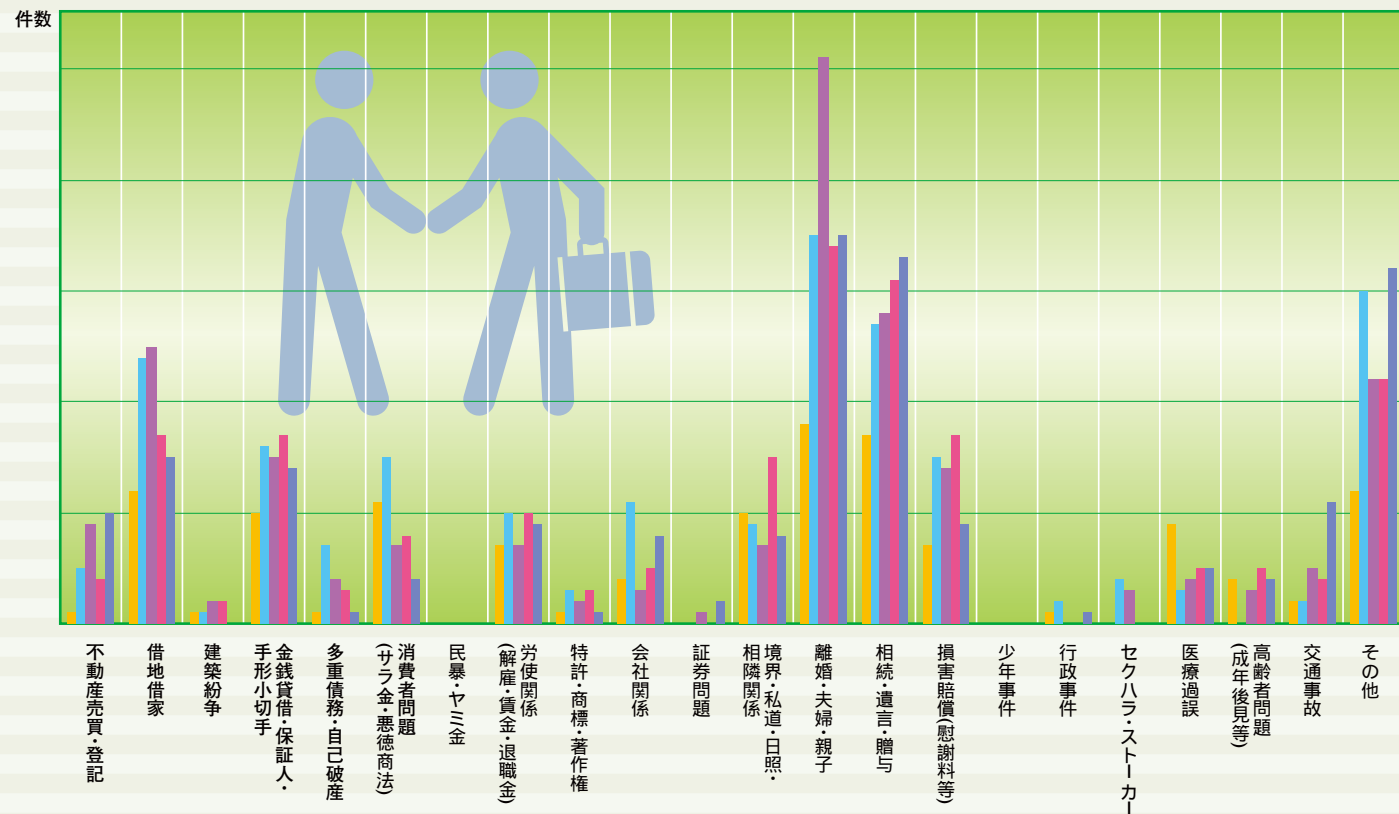
これまでの活動を振り返ってみますに、LSCで行われた法律相談の件数は、述べ963件を超え、また、近時は月平均16件の相談が行われている状況にあります。LSCが、社会において、法的問題について相談を持ちかける場として一定の認知を得ているといつてよいでしょう。また、教育分野においても、多くの法律相談実習や教材を作成し、法科大学院生の教育に役立てることができました。

現在、法科大学院を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。本年2月には、法務省・文部科学両省が「法曹養成制度に関する検討ワーキングチーム」を設置し、法曹養成制度の見直しについて検討を始めました。また、急激な法曹人口増加を背景に、実務家、特にいわゆる若手弁護士の求められる環境が、従来からの環境と大きく異なりつつあります。

こうした環境の変化の中で、LSCは、あるべき法曹養成とどのように関係してゆくべきか、どのような社会貢献を図ってゆくべきか、本冊子で取りまとめられている諸活動を新たな出発点として、考えてゆきたいと思ひます。

センター長 小濱意三

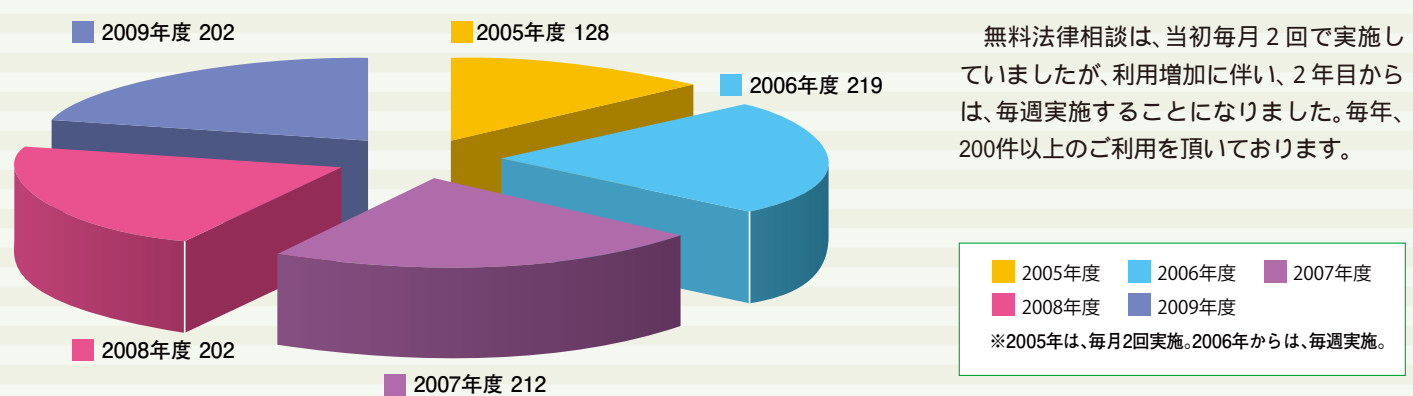
### 2005年度～2009年度 法律相談実施状況（項目別）



このグラフは、相談内容を項目別に分類したものです。毎年、離婚や相続などの相談が多いのが特徴と思われます。また、最近では、その他の項目が増えていることから、相談内容の多様化がうかがえます。債務整理のご相談は減少しつつありますが、反面、交通事故の相談が増加。特に、近年では、車同士の事故ではなく、自転車がかかわる事故の相談が増えてきています。



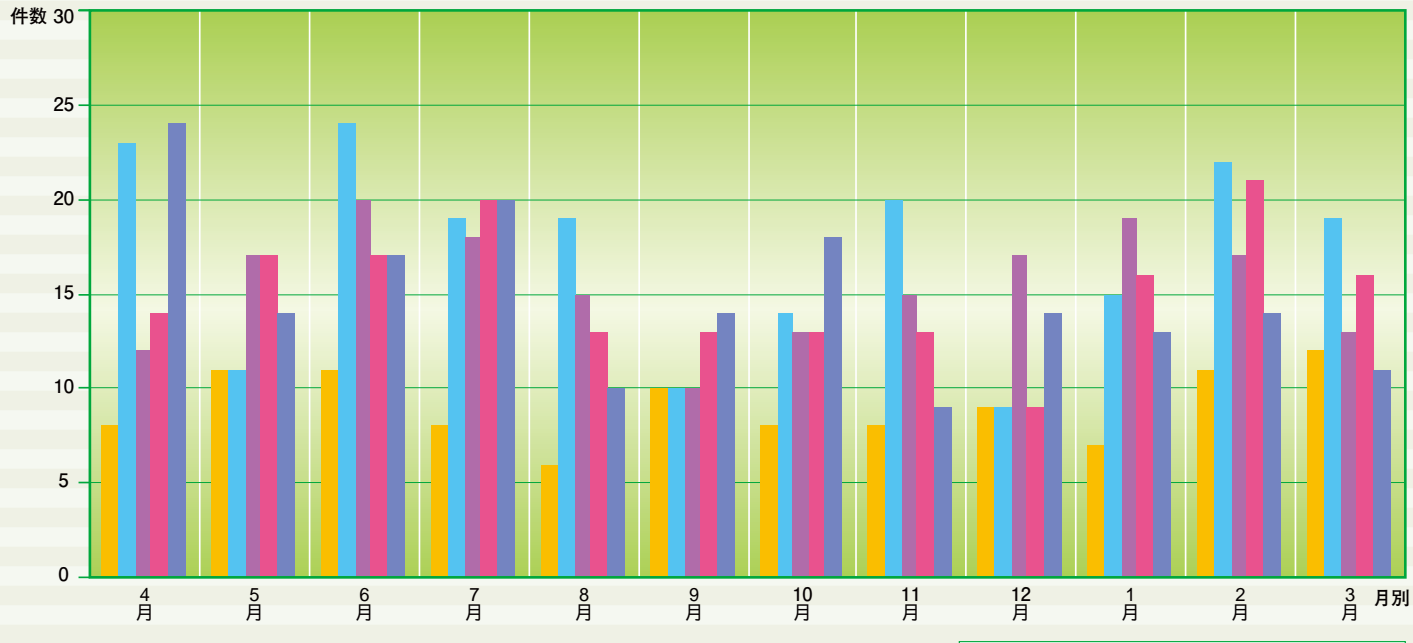
### 無料法律相談 相談実施件数年間合計



無料法律相談は、当初毎月2回で実施していましたが、利用増加に伴い、2年目からは、毎週実施することになりました。毎年、200件以上のご利用を頂いております。



### 2005年度～2009年度 法律相談実施状況（月別）



このグラフは、月別の利用状況の推移です。毎年、春先から夏にかけては、利用が多い反面、秋から年末にかけて、減少する傾向にあるようです。



LSCでは、毎週、一般の市民・企業の方々からの法律相談を承る「無料法律相談」を実施しています（毎週木曜日）。広島弁護士会に所属される弁護士の方々の多大なご協力を得て、これまで5年間、「無料法律相談」を継続することができましたこと、御礼申し上げます。また、法律相談を実施するうえでは、法テラス（日本司法支援センター）や県内市町村など諸方面の関係各機関と協力してまいりました。

司法改革はわが国における法化社会の実現を目指しております。今後ともLSCは法化社会の実現のネットワークの一員として社会的責任を果たしていく所存です。今後とも、ご指導ご支援のほどお願い申し上げます。

